

三島市議会ダイバーシティ推進検討

特別委員会を設置しました

三島市議会では、令和3年9月定例会において特別委員会を設置しました。今後検討していく内容の一部をご紹介します。

国において「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の改正法が令和3年6月10日に成立し、女性の政治参加を進めることを目的に、国と地方の双方において環境整備に努めることが定められました。三島市議会においても男女を問わず活躍できる場の環境整備に努めてきました。現在、男女という社会的性別（ジェンダー）の視点だけでなく、ダイバーシティを理解し、その多様な人材の能力が最大限に発揮できるように配慮し、それぞれの立場で活躍できる議会が求められています。多様な人材が議員として議会活動を円滑に行うことができよう、特別委員会を設置することにより、必要な条件や配慮等について、検討していきます。

ダイバーシティとは…
多様性を意味します。社会において、性別、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観がさまざまな属性の人が集まった状態のことを表しています。



特別委員会において検討していく主なポイント

- ・妊産婦およびその配偶者の議員等への配慮
- ・子育て中の議員への配慮
- ・家族の介護および看護等を担う議員への配慮
- ・車いす等を利用する議員への配慮
- ・視覚等に障がいをもつ議員への配慮
- ・聴覚および言語等に障がいをもつ議員への配慮
- ・性の多様性への配慮
- ・出産および育児、介護等に伴い本会議を欠席する議員の報酬等の支給割合
- ・ハラスメントの防止



特別委員会メンバー

委員長 鈴木文子 副委員長 甲斐幸博
委員 野村諒子 岡田美喜子 石井真人
大石一太郎 河野月江
オブザーバー 川原章寛 議長
中村仁 副議長



議会報告会を行った中で、市民からいただいた意見のうち、特に重要と思われるものについて、市長へ要望しました。

なお、要望への回答については議会だより5月1日号に掲載する予定です。



総務委員会

令和2年度で男性の育児休業補助金制度が終了となったが、改めてより規模の小さい事業所に向けた育児休業取得促進の支援制度を創設するとともに、先進的な取り組み事例を発信すること。また、三島市の男性職員育児休業取得率20%の目標達成に向けて、市長からの明確なメッセージの下、具体的な施策を展開するとともに、女性職員の働きやすさ向上のためのスキルアップ支援などの環境整備を進めていくこと。

福祉教育委員会

社会からの孤立や孤独死につながる独居高齢者のセルフネグレクト問題が浮上しており、予防の視点に立った総合的な支援が急務である。よって、65歳前からの支援開始も含めて、セルフネグレクトに関する調査を行い、地域包括支援センターへの情報提供・協力連携をもって一人一人に寄り添った支援体制を構築すること。

経済建設委員会

令和6年度以降の下水道料金改定について、段階的・連動的な改定を検討し、経営戦略に示した上で、市民生活に与える影響を考慮して丁寧な説明・周知を行うこと。また、下水道の広域化に向けた可能性調査における比較検討の際には、長伏浄化センターをポンプ場に切り替えた場合に、跡地利活用の可能性が生じる点を踏まえて議論すること。



議場を見学!



徳倉幼稚園の年長さんが、議場に見学に来てくれました😊